

# 不登校・引きこもり傾向のある 10代～20代(思春期世代)の居場所

実施団体：フリースペース十色

＊2018年5月25日に開所した不登校、引きこもり傾向のある10代～20代（思春期世代）の若者の居場所です。

- ①開所日時：毎週火曜日（10時～12時）と木曜日（10時～16時）
- ②安心・安全な居場所であることを根幹に据え、相談支援（当事者・保護者）、学習支援、医療機関や関係機関への同行、支援会議参加、就労支援などを行っています。
- ③大きな集団や賑やかな場が苦手な方が多いので、出来るだけ皆さんが穏やかに、各々好きなことをして過ごせるような空間であることを心掛けています。
- ④木曜日のお昼は、ご飯を炊き、お味噌汁とおかず一品を作って、その日来られた方と一緒に昼食を取っています。  
炊き込みご飯（五目ご飯・とうもろこしご飯など）の時にはとても喜んで下さり、普段あまりご飯を食べない方も沢山おかわりをされるので、炊き込みご飯の機会を多くもちました。
- ⑤フードドライブの活用や、地域等の方から不定期で野菜等を頂くので、豚肉・鶏肉・豆腐などを購入し、おかずも提供できました。
- ⑥時には、一緒にお菓子（炊飯器で出来るケーキ、ホットプレートを使ってお豆腐団子など）も作りました。
- ⑦カレー会を催したり、クリスマスにはケーキを購入してクリスマス会を行いました。
- ⑧ご飯やお味噌汁は多めに作って、持ち帰って頂いたり、来られなかった方の自宅にお届けしました。
- ⑧地域の方が、野菜や果物、地域パン、レトルト食品などを届けて下さるので、持ち帰って頂いたり、来られなかった方のご自宅にお届けしました。
- ⑨利用者さんが、積極的に昼食の準備、片付け等を手伝って下さるので、負担がかかり過ぎないように配慮しながら、協力し合っています。
- ⑩発達や軽度知的障害等の課題を抱えている方が複数人におり、コミュニケーションを取ることに少し困難さがあるため、スタッフが間に入って会話が成り立つよう、心掛けています。
- ⑪最近では、医療機関からのご紹介で、見学、利用される方も複数人いらっしゃいます。
- ⑫障害をお持ちのため、理解や判断をする力が健常の方に比べて低いこともあり、犯罪被害に遭ってしまうこともあります。そのため、開所日時以外で、学校、松本市障害福祉課、松本市生活福祉課、松本児童相談所、就労支援事業所、ハローワーク、病院等と連携し、状況に応じて、同行支援、支援会議への参加等も行いました。他に必要に応じて、弁護士への相談も同行支援しました。
- ⑬利用者さんの得意なこと（折り紙）を教えて頂いたり、トランプ、ウノなど楽しく遊ぶ時間を大切にしました。  
＊折り紙などの作品は十色の玄関や入口、部屋に飾っています。
- ⑭詩を書く方、レジン等を使って、ブローチやピアス、キーホルダー、髪留めなどの作品を作るなど多才な方が多くいらっしゃいます。素晴らしい作品なので、知人等を介して販売もしています。（収益は、その方個人に100%入ります）

⑮ご家庭に様々な課題を抱えていらっしゃる方もいるため、そういった方には、障害年金申立書の記入、申請の手続き等もお手伝いしています。

＊このような間を繋ぐ作業は行政ではできないことと思います。

困っていても相談先がわからなかったり、相談しても良いのかどうか迷った結果、その勇気がなく、行政にSOSを出せない方が多いのではないかと感じています。

「相談する」ことはこちらが想像する以上に「勇気が要る」ことなので、受ける側が「相談して良かった」と思って頂けるような対応を心掛けないといけないと痛感しています。

⑭十色を卒業した若者が、ひょっこり顔を出してくれることがあります。十色を卒業して何年か経っても「十色はいつでも帰れる居場所」として、若者たちに捉えて頂けていることを嬉しく思うと同時に、スタッフが変わっても継続していくこと、また様々な居場所が増えていくことを願っています。

＊夫々の若者が、私たちスタッフと信頼関係を築き、内面を打ち明けてくれ、そして力をつけていくためには長く時間がかかります。

学校や医療機関等の方々と連携しながらチームで応援していくことが重要であることを若者たちから教えて頂いています。

改めて、若者の持つ力が醸成するまで、彼らを信じゆっくり焦らず待つ大切さを感じています。